

平成 26 年 1 月 16 日
国土交通省木曾川下流河川事務所
水資源機構中部支社
水資源機構長良川河口堰管理所

長良川河口堰の管理状況

1. 概 要

平成26年1月6日から1月12日までの1週間の長良川河口堰のゲート操作状況、気象・水象・水質状況等についてお知らせします。

【河口堰上下流の塩分濃度（塩化物イオン値）の状況】

堰上流部では9～12mg/ℓ、堰下流部では16,000～17,000mg/ℓの値で推移しました。

飲用に適する塩分濃度は200mg/ℓ以下、工業用では20mg/ℓ以下であり堰上流部ではこれらの基準を満足しています。

【堰上流部における用水の利用状況】

長良導水（知多半島の4市5町への水道用水）として、約105万 m³（1週間の日平均取水量1.74m³/s）が利用されました。

その他各用水として水利権量の範囲内で利用されました。

【堰下流への流下量】

堰を通過して流れている流量は、1週間の日平均流量のうち最小の日の値は55m³/s（1月8日）、最大の日の値は100m³/s（1月9日）です。

2. 資 料 ① 長良川河口堰の管理状況（No. 706）……………1頁 ～ 5頁
 ② 調査結果（平成26年1月6日～1月12日）……………1/7 ～ 7/7

3. 配 布 先 中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、桑名記者クラブに同時配布します。

4. 問合せ先

- ・堰関連 独立行政法人 水資源機構
 中部支社 総務課長 いし い ☎(052) 231-7541（代）
 長良川河口堰管理所 管理課長 はな だ ☎(0594) 42-5012（代）
・水質関連 国土交通省
 木曾川下流河川事務所 河川環境課長 ま か ら ☎(0594) 24-5716

長良川河口堰のホームページで、最新および過去の管理情報をご覧になれます。
http://www.water.go.jp/chubu/nagara/14_kanri/index.html

QRコードは
こちらから
→



長良川河口堰の管理状況

No. 706

平成26年1月6日から1月12日までの1週間の長良川河口堰の管理状況は、以下のとおりです。

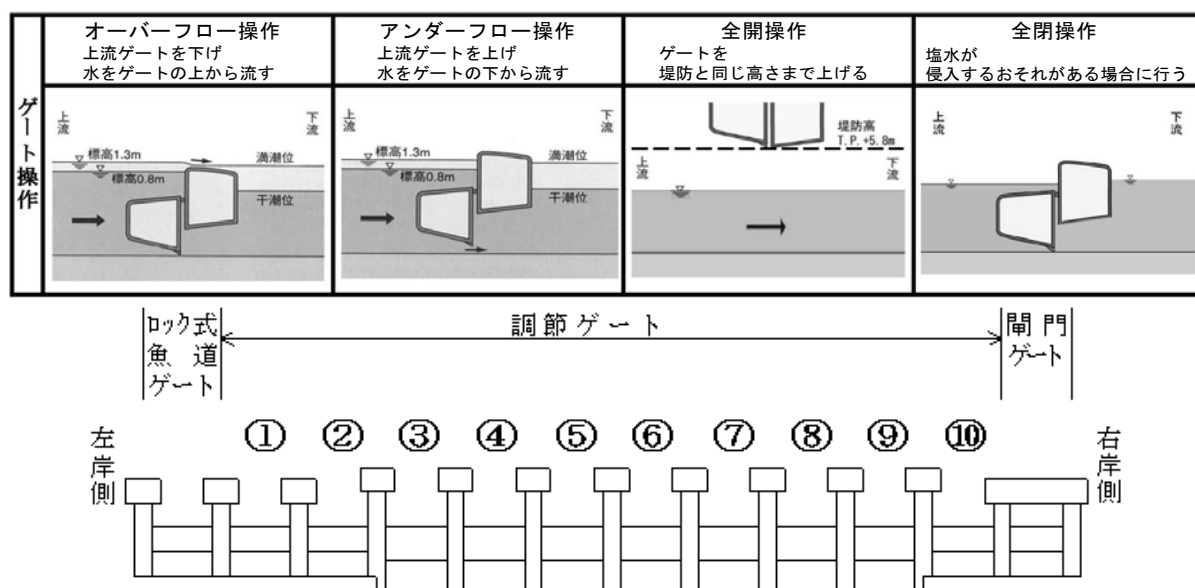
1. ゲートの操作状況等

1) 1月6日から1月12日までのゲート操作は次のとおり行いました。

9時時点の調節ゲート操作状況(※)				
月 日	オーバーフロー	アンダーフロー	全 開	全 閉
1 月 6 日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1 月 7 日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1 月 8 日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1 月 9 日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1 月 10 日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1 月 11 日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為
1 月 12 日	①～⑦ ⑨, ⑩			⑧ 整備作業を行う為

(※) ゲート操作状況の解説

調節ゲート1号を①、調節ゲート2号を②として、9時時点のゲートの状態を表しています。



2. 堰上下流水位の状況

1) 堰上流水位(※)

最高時 T. P. +1. 11m 1月 6日 02時38分頃
最低時 T. P. +0. 85m 1月 12日 09時20分頃

2) 堰下流水位

最高時 T. P. +0. 78m 1月 6日 10時10分頃
最低時 T. P. -1. 17m 1月 6日 03時48分頃

(※) 平常時の堰上流水位は、標高T. P. +1. 3mから標高T. P. +0. 8mまでの範囲で管理しています。

3. 気象、水象状況

河口堰地点の気象、水象は次のとおりです。

日	天 気	気温 (℃)	雨量 (mm)	風速 (m/s)	風向 (16方位)	忠節 流量 (m ³ /s)	堰下流へ の流下量 (真水) (m ³ /s)	
1/6	晴れ	2. 6	—	2. 9	NNE	40	65	1月の過去 10ヶ年日平 均流下量 (m ³ /s) 60
7	晴れ	1. 2	—	2. 1	NNE	40	70	
8	雨一時晴れ	4. 2	21	3. 0	NNE	35	55	
9	晴れ一時曇り	7. 6	—	4. 9	NW	80	100	
10	晴れのち曇り 一時雪	1. 3	0	3. 0	N	65	80	
11	晴れ時々曇り	3. 0	—	1. 8	NW	55	70	
12	晴れ時々曇り	2. 8	—	2. 2	NNE	50	60	
合計			21					

※・気温は9時現在値です。

- ・雨量は当日0時から24時までの合計値です。
 - ・風速は当日0時から24時までの平均値です。
 - ・風向（平均風向）は当日0時から24時までの最頻値です。
 - ・忠節流量は9時現在値です。
 - ・堰下流への流下量は当日0時から24時までの平均値です。
 - ・忠節流量、堰下流への流下量の値は、100m³/s未満の場合には5m³/s刻み、100m³/s 以上の場合には有効数字2桁とした概略値です。
- なお、堰流下量については、堰上流水位を小潮・大潮の時期に応じて、標高T. P. +1. 3mから標高T. P. +0. 8mまでの範囲で変化させる操作により、日によって増減することがあります。

4. 閘門の利用状況

閘門の利用状況については、次のとおりです。

月 日	1月 6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
操 作 回 数	10	4	5	4	9	0	8
利用船舶数	14	4	5	4	9	0	9

5. 水質等の状況

1) 河口堰上下流の塩分濃度変化（速報値）

河口堰では堰の上流水域を淡水化し、新たな水利用及び既存用水の常時取水の安定化を可能としています。

その確認のため、塩分濃度の状況を塩化物イオン値（Cl⁻濃度）で常に監視しています。堰上下流の塩分濃度は、次のとおりです。

（単位：mg/ℓ）

塩分濃度（塩化物イオン値）				
月 日 時刻	堰上流左岸250m地点			堰直下流 No.8 堰柱地点(※)
	上 層	中 層	下 層	下 層
1月 6日 9:00	10	11	12	16,000
7日 9:00	10	10	11	16,000
8日 9:00	9	10	12	17,000
9日 9:00	9	10	12	17,000
10日 9:00	9	10	11	16,000
11日 9:00	11	11	11	17,000
12日 9:00	10	12	12	17,000

※・塩分濃度（NaCl, MgCl₂, KCl等の混合時の濃度）とCl⁻濃度の関係は「塩分濃度=300+1.805×Cl⁻濃度」です。

・塩分濃度（塩化物イオン値）の基準は飲料水200mg/ℓ以下、工業用水20mg/ℓ以下です。

(※) 堰下流左岸250m地点の塩化物イオン濃度計を整備中のため、堰直下流（No.8 堰柱地点）の塩分濃度を表記しています。

2) 堰上下流水域、揖斐川及び木曽川のシラベール（水質自動監視装置）のクロロフィルa（速報値）の状況は次のとおりです。

（単位：μg/L）

	堰下流水域			堰 上 流 水 域												堰流入地点			揖 斐 川			木 曽 川		
	揖斐長良大橋 3.0km			伊 勢 大 橋 6.4km			長良川大橋 13.6km			東 海 大 橋 22.6km			南 濃 大 橋 28.4km			大 藪 大 橋 31.2km			城 南 -0.5km			弥 富 8.7km		
	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均	最大	最小	平均
6日	34.0	3.7	11.2	2.1	1.7	1.9	2.0	1.0	1.5	1.7	1.4	1.5	2.8	2.0	2.3	2.9	1.5	2.2	4.1	1.7	2.7	21.7	3.8	8.6
7日	一部欠測のため 不明：A			2.1	1.5	1.7	2.6	0.9	1.5	2.4	1.3	1.5	2.4	2.1	2.3	3.6	1.7	2.5	一部欠測のため 不明：A			29.9	3.7	10.3
8日	59.7	3.4	14.0	一部欠測のため 不明：A			2.1	1.2	1.6	1.9	1.4	1.6	一部欠測のため 不明：A			3.1	1.9	2.6	35.0	2.0	5.0	一部欠測のため 不明：A		
9日	24.0	3.2	9.4	2.0	1.5	1.8	一部欠測のため 不明：A			一部欠測のため 不明：A			4.4	2.8	3.7	一部欠測のため 不明：A			4.1	2.4	3.1	60 以上	6.8	-
10日	60 以上	4.9	-	1.9	1.6	1.7	1.6	0.9	1.2	3.2	2.3	2.7	一部欠測のため 不明：A			1.1	0.5	0.6	6.2	3.0	4.0	60 以上	5.1	-
11日	60 以上	3.7	-	1.8	1.5	1.7	3.1	1.5	2.2	3.3	1.8	2.4	3.2	2.5	2.8	0.7	0.6	0.6	5.6	2.2	3.4	60 以上	6.5	-
12日	60 以上	4.1	-	1.9	1.4	1.8	3.4	1.3	2.5	2.0	1.5	1.8	3.7	2.3	2.5	0.7	0.5	0.6	5.0	2.2	3.2	60 以上	6.4	-

※ クロロフィルaの測定範囲の上限値は60μg/Lです。

※ 欠測理由 A：保守点検 B：出水 C：計測・電送不良等

※・クロロフィルa（chlorophyll a）は、植物の光合成において基本的な役割を果たしている葉緑素のひとつで、光合成細菌を除くすべての緑色植物に含まれているため、藻類の存在量の指標となります。従って、藻類の発生量が増加すると、クロロフィルaの値が増加します。

6. その他

1) ゲート保守点検

1月 8日に扉体、戸当り、開閉装置の保守点検を行いました。

2) 主な水利用

①長良導水（水道用水）

月 日	長良導水(水道用水)
1月 6日	1.73 m ³ /s
7日	1.76 m ³ /s
8日	1.73 m ³ /s
9日	1.81 m ³ /s
10日	1.73 m ³ /s
11日	1.71 m ³ /s
12日	1.74 m ³ /s
期間中の取水総量	約 105 万m ³
期間中の平均取水量	約 150 千m ³ /日
供給先	知多半島の4市5町

※データの出典先

長良導水：水資源機構木曽川用水総合管理所

総量は、日平均取水量(m³/s)の合計に、86,400(=60秒×60分×24時間)を掛け、当該期間中の延べの使用水量に換算したもの。

②その他にも水利権量の範囲内で利用されました。

なお、10月11日～3月31日の長良川用水（羽島市、海津市へのかんがい）の水利権量は0m³/sです。

名 称	目 的	水利権量	供給先
福原用水	かんがい	0.256m ³ /s※	愛西市
中勢水道	水道用水	0.732m ³ /s※	津市、松阪市
北伊勢工業用水	工業用水	2.951m ³ /s※	桑名市、四日市市他
桑名市長島町	水道・かんがい ・水路維持	1.22 m ³ /s※	桑名市長島町

※ 年間最大取水量

ツグミ（鶇）（ツグミ科）



撮影：H25. 12. 1 愛知県稲沢市にて

大きな群れで渡ってくる冬鳥の代表ツグミです。体は、ふっくらとしていますが、俊敏に動きます。警戒心が強くじっとしていません。この写真も、河口管理所敷地内の植え込みの下で、虫でも探していた時に、何かに驚いて身構えた瞬間です。

日本に飛来した時は、田畑や低い山、林で生活。「キュロンキュロン」「キィキィ」「カッカッ」…さえずりの名手であるだけに、美しい歌声を披露してくれますが、春には再びシベリアへ帰り、結婚、子育てに入ると殆ど声を聞かなくなります。“口をつぐむ”ということで、「つぐみ」と名が付いたともいわれています。

シベリア～日本は、地図上で約4千^{キロ}もあります。どうやって渡ってくるのでしょうか。鳥の渡りはまだまだ解明されていない点も多いそうですが、太陽や星の位置を目印に、生まれながらにして磁場と地形、細かい地図情報をもっているという説もあるそうです。

春になれば、また、4千^{キロ}の旅に出発するのでしょうかけれど、河口堰の周辺で鋭気を養って、無事にシベリアに到着して欲しいと思います。（練&藤）